



【第二次市教育振興基本計画】R4～R8

【目指すべき教育の姿】

- (か) 鹿児島市に誇りをもち、
- (こ) これからの時代に必要な生きる力を養い
- (し) 心身ともにたくましく
- (ま) 学び続ける人材を社会全体で育成します。

【本市教育施策の方向性】

- (1) 規範意識や自他の生命を尊重する心、困難を乗り越えながら物事を成し遂げる力、自ら考え判断し、行動する力の育成する。
- (2) 変化の激しい社会で児童生徒が成長していくために、個性と能力を伸ばす教育を推進する。
- (3) 運動・スポーツに親しむ機会の充実、健康的なライフスタイルの確立に向けた支援、安全教育・防災教育の充実を図る。
- (4) 地域と連携、協働しながら、学校運営を継続的に改善するとともに、教育施設整備や教育費の負担軽減等の充実を図る。
- (5) 多様な学習機会の提供等を通じた家庭や地域の教育力の向上、生涯学習関連施設整備等の充実を図る。
- (6) 文化芸術に触れ親しむ機会の充実等とともに、地域の歴史・文化資源への理解増進等を図る。

【学校の伝統・強み】

- ① 西郷南洲翁とゆかりが深く、校名「武」は武道の礼に通ずることから礼儀指導に力を入れてきた。
- ② S37から青少年赤十字に加盟し、継続した奉仕活動に取り組んでおり、高い評価を受けている。(加盟60周年)
- ③ 市の中心部にあり、交通の便がよいので、教育施設・素材を活用しやすい。
- ④ 職員研修に熱心に取り組み、公開等を通して成果を上げてきた。
R2: J A E T 全国大会会場校
- ⑤ 近年、学校保健・学校安全に熱心に取り組み、評価を受けてきた。
H30学校保健文部科学大臣表彰
R2 県学校安全優良学校賞
R3 学校安全文部科学大臣表彰
R4～6 市学校安全モデルスクール

【卒業までに武小の子供に付けたい資質・能力】

- (1) 自分の命に関心を持ち、将来にわたって健康で安全な生活を送るための知識・技能等を身に付け、それを生かして行動できる。
- (2) 自分と他人のよさに気付き、自己肯定感を高めるとともに、望ましい人間関係を築くことができる。
- (3) 情報を適切に活用しながら自分なりの方法で問題解決するとともに、対話・交流を通して考えを深めることができる。
- (4) 郷土(武・鹿児島)のよさをとらえ、それを大切にするとともに、進んで社会のために貢献しようとする。

学校教育目標

- (た) 楽しく学び
- (け) 健康な心と体をもった武の子を育てる

《経営基盤》
安心・安全な学校環境と人権尊重の精神

校訓 かしこく うつくしく たくましく

【令和4年度の教育課題】

- ① 学校保健・学校安全の取組を継続・充実し、校外での安全(交通事故等防止、防犯、防災)の取組も強化する。(病院受診のけが減少)
- ② 学校・学級への適応が難しい子供に対してチームとして対応し改善を図る。(特別支援教育や家庭での生活習慣の定着の視点等から)
- ③ 立腰指導や継続的な体力づくりを通して体幹や柔軟性等を高める。
- ④ 相手・時・場に応じた「語先後礼」での挨拶や自分・相手を大切にできる言動(アサーション)ができるようにし、自他の成長を実感させる。(キャリア・パスポート活用)
- ⑤ ICT機器や図書館の本等を有効に活用した主体的な学びや「学校の新しい生活様式」を踏まえた対話・交流活動を通して、将来に生きてはたらく学力(思考力・表現力、学びに向かう力等)を高める。

《一学校一改革》 「整える」(自分の身と物を整え、生活・活動への心構えをつくる。)※月別生活目標での重点的指導

- ◎ゲー・ピタ・ピン(立腰指導) ◎自分の靴・トイレのスリッパ揃え ○ネーム着用・着帽と服装の整え
- 机上・座席まわり・鞆棚等の整理 ○学習用具の準備・チャイム前着席・黙想 ○使った物の後始末 ◎は最重点項目

かしこく

- 1 基本的な学習のしつけの定着(各学期始めの重点指導)
- 2 子供が見通しをもって学習し、自分の学びを振り返る授業づくり
- 3 ICT機器・図書等を活用し、自分の学びを表現し、対話や交流で考えを深める授業づくり
- 4 基礎・基本的事項の確実な定着(テスト直し、NRT分析・Webシステム問題等での習熟)
- 5 発達段階を踏まえた家庭学習についての具体的指導(モデルの提示)

うつくしく

- 1 いじめ・不登校の早期発見とチーム対応(定期的アンケートや「学校楽しいーと」等の実施と心の教育推進委での共有)
- 2 学級でのよさの認め合い、校内表彰、外部作品展への挑戦・称賛、キャリアパスポートの活用による自己肯定感の高揚
- 3 人権同和教育の計画的推進と「考え議論する」道徳科授業の推進
- 4 JRC精神に基づいたボランティア活動の推進
- 5 量と質を大切にしたい心を豊かにする読書指導の充実

たくましく

- 1 セーフコミュニティモデル校としての取組の継続(子供の主体的活動の重視)と校外の事故防止への指導の充実
- 2 学校の新しい生活様式による感染症予防とむし歯治療率向上
- 3 家庭との連携による基本的な生活リズムの定着とメディア・ゲームとの付き合い方の指導強化
- 4 教科体育等における体幹・柔軟性を高める指導の工夫と運動の楽しさを味わう授業づくり
- 5 「もくもく・すみずみ・ぴかぴか」清掃活動の指導・見届けと緑化活動の充実

【教職員の働き方改革の一層の推進】 教職員が心身の健康とワークライフバランスを大切にし、やりがいを感じて子供に向き合うために

- (1) 1 Action (全体) ○定時退庁日(水曜日・給与支給日)の設定 ○目標退庁時刻・時間外勤務限度の設定
- (2) 1 Try (個人) ○全体を優先した業務推進(提出期限・会合時刻) ○翌週・1か月を見通し優先度を考えた業務計画
観点を基にした取組設定 ○チーム(学年、教科・領域部)での分担と共有 ○校務支援システム(See-smile)や共有フォルダの活用
- (3) 1 Change (教育課程) ○行事等の反省を基にした時期・内容・方法の改善、必要度を考えた精選(スクラップ)

【家庭・地域との連携】

- 1 学校ホームページ・ブログ(学年最低月2回目標)の更新による教育活動についての積極的な情報発信
- 2 学校支援ボランティアの積極的な活用による学習環境の安全確保や授業における体験的な活動の充実
- 3 授業での学びを深める出前授業や校外学習の推進による武・鹿児島市のよさの実感と本物に触れる教育活動の推進(「個性あふれる学校づくり推進事業」の有効活用)
- 4 スクールゾーン委員会・まちづくり協議会との連携による校外での事故防止への取組
- 5 幼保小連携・小中連携研修会での情報共有と全校的な共通実践
- 6 学校運営協議会(コミュニティスクール)設置に向けた研究・協議(R5:市内全校に設置)

